



南海トラフ地震
想定震源域

南海トラフ地震で
大きな被害が見込まれる地域

『もしも』に備えるやいづ

静岡県と焼津市では、東海地震説が語られはじめた 1976 年頃から約 50 年間、ハード・ソフトの両面から、大規模地震に備えてさまざまな対策を行ってきました。

災害時には、国や地方公共団体による「公助」だけでなく、地域や身近にいる人で助け合う「共助」、そして一人一人が取り組む「自助」の 3 つが連携することで被害を軽減できます。

いつ起こるかわからないもしもの時に、自身や家族を守りましょう。

問合先 ● 防災計画課 ☎625-0128 ● 地域防災課 ☎623-2554

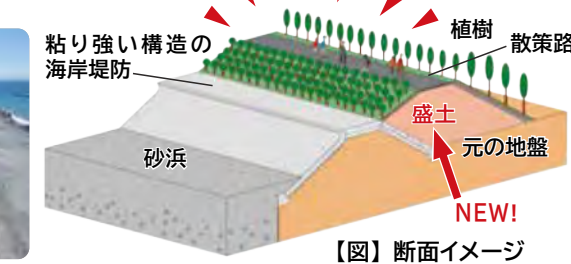


公助

国・県・市の幅広い対策

潮風グリーンウォーク

令和7年度
完成予定



粘り強い構造の
海岸堤防

植樹 散策路

盛土
元的地盤

NEW!

【図】断面イメージ

海岸線の堤防を粘り強い構造に補強し、堤防よりもさらに 2 倍高い盛土を整備することで、市街地への浸水被害を軽減します。また、盛土に植栽し散策路を整備することで親しまれる施設となるよう工事を進めており、橋山川から吉永放水路までの区間が完成しています。

現在、大井川港海岸（利右衛門地区）の整備を行っています。



詳しくはこちら

配水池の耐震対策 100%



杵宜島配水場

配水池の耐震化

市内の配水池の耐震対策は 100% となっています。

また、配水池の出口に設置された緊急遮断弁により、大規模な地震で破損した水道管から水道水の流出を防いで非常用水を確保します。

水道管の耐震化

大きな地震が起こった場合でも、安全な水道水を届けることができるように、主要な管路である「基幹管路」を優先して耐震性の高い水道管への更新を進めています（下記事を参照）。



水道管更新工事の様子

どうして水道管の「基幹管路」を優先して耐震工事をするの？

この管路を耐震化することで、災害が起きた時でも水源（井戸）の水を取り入れて、安定的に水道水を送ることができるよ。

基幹管路とは、水源（井戸）から配水池までの管路や、配水池から多くの水を送り出す重要な管路である大きな口径の水道管（直径 40 ㍓以上）のことだよ。

焼津市では、ほとんどの基幹管路に耐久性の高い「ダクトイル鉄管」が使われているよ！

地震で地盤が揺れても、管の継手部が柔軟に動く伸縮性と離脱防止機能を備えた耐震型の「ダクトイル鉄管」へ計画的に更新しているよ。



ダクトイル鉄管

一歩先の公助

焼津市では、風水害の激甚化や猛暑など、さまざまな災害への対策も進めているよ！

流域治水プロジェクト事業

小石川遊水地の整備

台風などの大雨による小石川流域の浸水被害を軽減させるため、遊水地の整備を進めます。

小石川が増水したときは、遊水地となる小屋敷環境管理センター広場に、約 4,000 ㎡の川の水をためます。



小石川 排水
遊水地
取水

小石川遊水地（完成イメージ）

豊田地域交流センター地下貯留施設の建設

豊田地域交流センター駐車場の地下に、約 1,000 ㎡の雨水をためる施設を建設し、小石川流域の浸水被害を軽減させます。



雨水などが地下に流れる 駐車場

地下貯留施設

地下貯留施設（完成イメージ）

雨水貯留浸透施設の設置補助

大雨による浸水被害を軽減するために、各家庭などに対し、雨水をためるタンクや地下に浸透させるための設置費用の一部を補助します。



雨水貯留タンク 雨どい

詳しくはこちら

その他の取り組み

石脇川・小石川・前の川流域において、公共施設を活用した雨水貯留施設の計画的な整備に取り組んでいます。

情報入手方法の準備を

災害時には、最新の情報に基づいて行動することが重要です。

情報を早く入手できるように今のうちから準備をしておきましょう。

事前登録で便利に！

- やいづ防災メール
災害に関する情報を迅速・適切に提供するサービスです。
- 焼津市公式 LINE
焼津市に関するさまざまな情報をお届けしている市公式の LINE アカウントです。
- 静岡県防災アプリ
静岡県による実災害時も日頃も便利なアプリです。

同報無線の放送内容もメールと LINE で受信できるよ

市公式 LINE

県防災アプリ

緊急

d ボタンの例

防災ポータルサイト

現在発表中の気象情報や市が発令している避難情報などをリアルタイムに確認できます。

また、避難所開設状況などを地図上で分かりやすく確認できます。



防災ポータルサイト